

家族での取り組みから見えた物②—世界に通じる力を育てる—第 103 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。(以下セルラスと表記します)

5月4日に緊急事態宣言の延長が発表され、「この生活がまだ続くのか～」とため息をつかれた方も多いのではないのでしょうか？

今までにないほど家族と一緒にいる時間が長いことや、未来への不安が相まって、家族内でいろいろなトラブルが起きている方もいらっしゃるかもしれません。

そんな時に「どうすればいいのか？」ということを家族で話し合うことで、新たな関係性を築いていくことができるかもしれませんね。

今回のメルマガは私が投稿した記事です。

今年息子が初参加する予定だった《リーダーズトレーニングキャンプ(※1)》に向けて、家族で準備したことで、新たに発見したことを想いのままにまとめたものです。

拙い文章かもしれませんが、どうぞお読みください。

※1) リーダーズトレーニングキャンプ：略して《リートレ》。中学生～大学生までのメンバーのみが参加できる。

2泊3日で多言語活動や今年のテーマに関するディスカッションを行い、世界に通じるリーダーについて考えるキャンプ。毎年春休みに開催されている。(今年はコロナの影響で中止)

『家族で創る「多言語プレゼン」』

川崎市在住 尾本佐和

家族構成：夫・息子(中1)

我が家は息子が小1の時にセルラスに入会し、その息子も今年中1になりました。

最初は私と息子の2人で活動に参加していましたが、そのうち夫も毎回ではないにしても活動に参加するようになりました。今は家族で多言語を楽しむ生活ができることに喜びを感じています。

【キャンプにチャレンジする息子と一緒に！】

今年中1になった息子は、リートレに初めて参加することになりました。

小3から毎年参加している《青少年サマーキャンプ》とは全く違うのだということ、今まで行った人の報告を聞いて知っていた息子は、今年始めからリートレの課題のひとつであるストーリーのシャドウイング(※2)に積極的に取り組み、希望者のみが行う《多言語プレゼン》にもぜひチャレンジしたい、とっていました。

そこで、今年の始めに3カ月の短期目標として

『リートレの課題を家族3人でできるようになって、みんなの前でやる』

というものを家族で打ち立てました。

※2) シャドウイング：音声に合わせて、影のように声を出すこと。多言語習得活動の一つとして日常的に行っている。

【多言語プレゼンを一緒に作る？】

そんな風に決めてはみたものの、多言語プレゼンに関しては、『家族と一緒に多言語プレゼンを作るって？』と悩むばかりでなかなかいいアイデアは浮かびませんでした。

当の息子も話したい内容がはっきりせず、『とにかく一緒に！』と思っても、何から手を付けたらいいかわからなかった私はモチベーションも上がらず、リンクするかのように息子のモチベーションもゼロに近いものがありました。

【風景・感情から出てくる多言語の音】

そんな矢先に結婚記念日の旅行として、以前から行ってみたいと思っていた《東武ワールドスクエア》というアミューズメントパークへ行きました。

そこは世界中の有名な建造物を 25 分の 1 サイズで詳細に再現し展示している屋外施設で、建物だけでなく、小さな人形もたくさん置かれ、写真を撮って見るとまるで本物のようでした。

ミニチュアホワイトハウスの前に小さなトランプ大統領の人形があるのを見つけた時、

「そうだ！写真、写真」と私が言うと、「Oh, my camera. I gotta take pictures.」と息子が楽しそうに言い出しました。

その後も、屋外施設で 2 月だったこともあり、寒くてたまらなくなった時に

「隊長、太冷了！（隊長、超寒いです！）」

と言ったりしていました。

こんな風に何度もストーリーブックの中のことばを、今の感情や風景に合わせて言っている息子を見て、

『あれ！？これってこのまま多言語プレゼンになるんじゃない？』と私は思いました。

息子も同じことを感じたようで、早速その次の週末から 3 人で考えてみることになりました。

【お互いの意見を聞くと楽しい！】

全体構成としては、東武ワールドスクエアで見た様々な国の建物をその国の言語で説明する、というものにしましたが、最初は私が教える感じになってしまい、気付いた時には『なんだかつまらないなあ』という空気が家族間で流れていました。

『やっちまった！』と気付いた私は、少し空白期間を設けて、どんなふうにつけていくかをもう一度 3 人で話し合うことにしました。

結果、まずは 1 人 1 人がストーリーブックにあるセリフを使った日本語の物語を作り、それぞれがどんな物語を作ったか発表し合うという方法をやってみることにしました。

やってみるまでは、『たぶんみんな同じような作りだよね？』と聞いていたのですが、意外にも全員が全く違う内容で作っていました。

各々がどう考えたかのプレゼンを聞きながら、

「その手があったか〜。」とか「それいいねえ。」とお互いに称えあい、笑い合いました。

最終的にその方法で 5 カ国語（韓国語・英語・ロシア語・フランス語・中国語）の物語を作り、ショートストーリーが集まったような物語ができました。

【多言語プレゼン作りで『遊ぶ』】

ほとんどがストーリーブックの中の、しかも今までロールプレイなどを行ったことのあるストーリーのセリフを使って作っているので、すでに言えるところもありました。

多言語で言えなくても物語全体の風景はあるから、CD 中のどこに自分たちの言いたい音があるのかと探すこともそれほど大変ではなく、何度も CD を聞いて言っていくうちにすぐに言えるようになり、あっという間に多言語プレゼンが完成しました。

《多言語プレゼン》というと、なんとなく『立派なことを話さなくちゃ』とか、
『正しい言語で話さなくちゃ』と思っていましたし、ロールプレイやシャドウイングみたいに【遊ぶ】という感覚はまるでありませんでした。

しかし今回、家族と一緒にプレゼンを作ってみて、私は初めて『プレゼンって作る過程が楽しい！』
『ストーリーブックのセリフを使って作れば、みんなで遊べる！そしてすぐに言えるようになる！』と思いました。

そして、少し緊張症な息子が多言語プレゼンを堂々と楽しげに発表している姿を見て、誰かと一緒に作ることで、自分が伝えようとしている内容を共有してくれる人ができて、その人の存在が安心と自信に繋がったのではないかと思いました。

いかがでしたでしょうか？

自分の文章にコメントをつけるのは意外に恥ずかしいものですね(笑)

今年のセルラスのテーマは「日常生活にもっと多言語を！」ということですが、正直、中1になった息子と多言語を今後も楽しんでいけるだろうか？ということは私にとって心配な点の一つでした。

せっかく準備をしたのにリトレが中止になってしまったことは本当に残念でしたが、今回の取り組みを通して、『まだ、こんな風にも楽しめる！』と思えたことは、私にとって大きな発見になったと思います。

<セルラスインフォメーション>

◆講演会情報

5月に予定しておりました講演会も感染拡大防止のために全て中止とさせていただきました。

楽しみにして下さっていた皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしております。

今後の講演会情報につきましては、状況により変化いたしますので、HPでご確認くださいませよう、
お願い申し上げます。

<http://www.celulas.or.jp>

また皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

★メルマガをお読みになった皆様のご意見、ご感想を是非お寄せください。

今後の配信の参考にさせていただきます。

アドレスはこちら → kouhou@celulas.or.jp